

研究活動報告

日本人口学会第59回大会

日本人口学会（会長：高橋眞一・神戸大学名誉教授）の第59回大会は2007年6月9日～10日、島根大学松江キャンパスにて開催された。廣嶋清志・大会運営委員長（島根大学法文学部教授）のご尽力により144名の参加者があり（非会員含む）、2日間にわたって活発な研究発表と討議がおこなわれた。シンポジウム、テーマセッション（1，2，3）および8部会39セッションに及ぶ自由論題報告の組織者、報告題目、討論者等は以下の通りである。

なお初日には高橋眞一会長により「自然、地域、そして人口」と題する講演が行われた。また元会長であり人口問題研究所長であった黒田俊夫名誉会員を悼む追悼講演が山口喜一名誉会員により行われた。

○シンポジウム「少子化対策を考える」

＜組織者＞廣嶋清志（島根大学）

＜座長＞安藏伸治（明治大学）

1 ヨーロッパの少子化と政策対応

津谷典子（慶應義塾大学）

2 アジアの少子化と政策対応

小島宏（早稲田大学）

3 日本の少子化と政策対応

加藤彰彦（明治大学）

＜討論者＞佐藤龍三郎（国立社会保障・人口問題研究所）

衣笠智子（神戸大学）

○テーマセッション1「団塊ジュニアの人口学」

＜組織者・座長＞加藤久和（明治大学）

1 団塊ジュニアの家族・世帯の将来推計

稲垣誠一（東京国際大学）

2 日本における初婚のイベントヒストリー分析－地域コンテキストの観点から－

朝井友紀子（慶應義塾大学）

3 戦後わが国における相対所得の変動と結婚行動～「世代の大きさ」のもつ人口

学的影響に関する考察～

福田節也（明治大学）

＜討論者＞渡辺真知子（明海大学）

守泉理恵（国立社会保障・人口問題研究所）

○テーマセッション2「小地域統計と地域人口学 I」

＜組織者＞阿部隆（日本女子大学）

＜座長＞井上孝（青山学院大学）

1 戦前市町村別出生率の低下：島根県の場合

廣嶋清志（島根大学）

2 舞鶴市内部における人口増加の地区間格差

山神達也（立命館大学）

3 東海地域の産業発展と人口移動（1955年～2005年）

伊藤薫（岐阜聖徳学園大学）

4 カンボジアの小地域統計

西文彦（総務省統計研修所）

菅まり（総務省統計研修所）
＜討論者＞高橋眞一（神戸大学）
吉田良生（朝日大学）

○テーマセッション3「小地域統計と地域人口学 II」

- ＜組織者・座長＞阿部隆（日本女子大学）
- 1 GIS を利用した戦前市区町村別人口動態の分析 小池司朗（国立社会保障・人口問題研究所）
 - 2 人口ポテンシャルの算出方法に関する一考察～GIS と小地域人口統計を用いて～
井上孝（青山学院大学）
 - 3 地理情報システムを利用した小地域統計データの高度利用のための WEB サイト
～「統計 GIS プラザ」の概要～ 小池幸夫（総務省統計局）
松村迪雄（独立行政法人統計センター）
 - 4 大都市圏内部の空間構造変化の考察～小地域統計を用いた人口と従業者の分析～
坂西明子（奈良県立大学）
＜討論者＞大林千一（帝京大学）
中川聡史（神戸大学）

○自由論題報告

【第1部会】

- ＜座長＞斎藤修（一橋大学）
- 1 長期的な都市人口構造の変動とその応用 林玲子（政策研究大学院大学）
 - 2 幕末期京都の町方人口推計について 浜野潔（関西大学）
 - 3 二本松地域の人口変動と移動：都市と農村の比較1708－1870年 黒須里美（麗澤大学）
高橋美由紀（日本学術振興会）
＜座長＞鬼頭宏（上智大学）
 - 4 直系家族システム維持のための結婚と離婚～会津山間部の宗門改帳を中心とし
て～ 岡田あおい（帝京大学）
 - 5 近代移行期南関東山村の世帯と隠居～武蔵国秩父郡上名栗村古組宗門人別帳を
素材として～ 戸石七生（日本学術振興会）
 - 6 寺院「過去帳」に記録された被葬者の死亡地～18－19世紀の武蔵国多摩郡を事
例として～ 川口洋（帝塚山大学）

【第2部会】

- ＜座長＞早瀬保子（元アジア経済研究所）
- 1 中国における出稼ぎ労働者の生活実態と社会的ネットワーク分析～中国北京・
上海での実地調査より～ 尹云翔（東京農工大学）
 - 2 上海市都心部における少子高齢化に関する研究－盧湾区を事例にして－
康雯琴（東京農工大学）
 - 3 中国における流動人口の生活実態に関する分析～広東省の調査を基に～
馬文猛（日本学術振興会）
＜座長＞石南國（城西大学）
 - 4 インドにおける人口構造の変化と就業－1990年代の変化を中心として－

- | | | |
|---|---------------|--------------------------|
| 5 | 東北タイの人口移動 | 西川由比子（城西大学） |
| 6 | タンザニア農村の出生力低下 | 中川聡史（神戸大学）
高橋眞一（神戸大学） |

【第3部会】

- | | | |
|---|---|--|
| | | ＜座長＞森岡仁（駒澤大学） |
| 1 | 我が国における世代出生数の動向 | 池田一夫（東京都健康安全研究センター）
灘岡陽子（東京都健康安全研究センター）
倉科周介（老人保健施設ケアセンター阿見） |
| 2 | 関東圏における完結出生力の低下過程に関して 1880年から1930年出生コウ
ホートに関して | 池周一郎（帝京大学）
＜座長＞原俊彦（札幌市立大学） |
| 3 | 多相生命表による結婚のライフサイクルの分析：1930, 1955, 1980, 2005年 | 別府志海（国立社会保障・人口問題研究所） |
| 4 | 夫妻の就業と出生の国際比較 | 吉田千鶴（関東学院大学） |
| 5 | 女性の就業形態を軸としたモデルに基づく少子化対策効果の分析 | 増田幹人（東洋大学） |

【第4部会】

- | | | |
|---|--------------------------------------|---|
| | | ＜座長＞山口喜一（元東京家政学院大学） |
| 1 | 2005年国勢調査の大都市における回収状況について | 山田茂（国士舘大学） |
| 2 | 平成17年国勢調査の集計における社会経済情勢変化への対応及びその集計結果 | 米澤哲一（総務省統計局） |
| 3 | 団塊世代の世帯構成の変遷－今までの変化と将来の姿－ | 松村迪雄（独立行政法人統計センター）
石原秀男（総務省統計局）
＜座長＞渡辺真知子（明海大学） |
| 4 | 人口激減地域の比較研究～山村と炭鉱閉山地域からの人口流出を事例に～ | 堤研二（大阪大学） |
| 5 | 潜在的他出者仮説の再検討：地域的差異とコーホート間差異に着目して | 丸山洋平（慶應義塾大学）
大江守之（慶應義塾大学） |
| 6 | わが国における国際人口移動の変動要因に関する定量的分析 | 石川晃（国立社会保障・人口問題研究所）
佐々井司（国立社会保障・人口問題研究所） |

【第5部会】

- | | | |
|---|--------------------|--|
| | | ＜座長＞和田光平（中央大学） |
| 1 | 開発途上地域の出生力の動向と政策課題 | 佐藤龍三郎（国立社会保障・人口問題研究所）
白石紀子（国立社会保障・人口問題研究所）
坂東里江子（国立社会保障・人口問題研究所） |
| 2 | カンボジアにおける若者の性意識 | 池上清子（国連人口基金東京事務所） |
| 3 | 女性の健康と妊娠・出産 | 岩澤美帆（国立社会保障・人口問題研究所）
三田房美（国立社会保障・人口問題研究所） |

- | | |
|--------------------------|----------------|
| | ＜座長＞阿藤誠（早稲田大学） |
| 4 人口減少の政治人口学的考察 | 河野稠果（麗澤大学） |
| 5 家族関連支出が出生率に与える影響のパネル分析 | 鎌田健司（明治大学） |
| 6 ドイツの少子化と家族政策の転換 | 原俊彦（札幌市立大学） |

【第6部会】

- | | |
|--|----------------------|
| | ＜座長＞兼清弘之（明治大学） |
| 1 高齢者の世帯状態の分析－資産格差の視点から－ | 小島克久（国立社会保障・人口問題研究所） |
| 2 人口高齢化の経済的インパクト：国民移転勘定によるアプローチ | 小川直宏（日本大学） |
| | 松倉力也（日本大学） |
| 3 離家の動向：第5回世帯動態調査から | 鈴木透（国立社会保障・人口問題研究所） |
| 4 第2回デルファイ調査の概要 | 安藏伸治（明治大学） |
| 5 第一回，第二回デルファイ調査にみる少子化の見通しに対する専門分野別の分析 | 中島満大（京都大学） |

【第7部会】

- | | |
|-----------------------------------|--------------------------|
| | ＜座長＞高橋重郷（国立社会保障・人口問題研究所） |
| 1 シングル・ファーザーの最近の状況 | 菅まり（総務省統計研修所） |
| | 西文彦（総務省統計研修所） |
| 2 日本における教育水準と離婚の関係 | ジェームズ・レイモ（ウィスコンシン大学） |
| | 岩澤美帆（国立社会保障・人口問題研究所） |
| 3 結婚・出産の機会費用とその経済的損失～マクロデータによる試算～ | 守泉理恵（国立社会保障・人口問題研究所） |

【第8部会】

- | | |
|--|---------------------|
| | ＜座長＞店田廣文（早稲田大学） |
| 1 ロシア連邦の地域別男性死亡率の分析 | 田畑朋子（北海道大学） |
| 2 年齢シフト構造を持つ Lee-Carter モデルを用いたわが国の死亡率推計 | 石井太（国立社会保障・人口問題研究所） |

大会2日目の6月10日午後には日本人口学会主催，島根大学・島根県共催により市民公開講座が開催された。

○市民公開講座「少子・定住対策をめぐって－島根・日本・世界から」

- | | |
|----------------------------------|-----------------------|
| | ＜司会＞廣嶋清志（島根大学） |
| 1 島根県の少子化対策 | 安井克久（島根県健康福祉部少子化対策室長） |
| 2 島根県の定住対策 | 松村憲樹（島根県地域振興部地域振興室長） |
| 3 少子化への政策対応－日本とスウェーデン，フランスを比較して－ | 阿藤誠（早稲田大学） |
| | （佐藤龍三郎記） |